

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第3部門第2区分  
【発行日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【公表番号】特表2001-500893(P2001-500893A)  
【公表日】平成13年1月23日(2001.1.23)  
【出願番号】特願平10-515410  
【国際特許分類第7版】

C 0 7 K 14/62

A 6 1 K 38/00

A 6 1 P 3/10

C 0 7 K 7/06

【F I】

C 0 7 K 14/62

A 6 1 P 3/10

C 0 7 K 7/06 Z

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】  
【提出日】平成16年9月24日(2004.9.24)  
【手続補正1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】補正の内容のとおり  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年 9 月24日

特許庁長官 小 川 洋 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第515410号

2. 補正をする者

住 所 スウェーデン国エス-182 64 ユーシュホルム、ダールベル  
イススティーゲン6

名 称 クリエイティヴ・ペプティドス・スウェーデン・アクチエ  
ボラーグ

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区麴町一丁目10番地(麴町広洋ビル)

電 話 (3261)2022

氏 名 (9173) 高 木 千 嘉



4. 補正対象書類名

明 細 書、 請 求 の 範 囲

5. 補正対象項目名

明 細 書、 請 求 の 範 囲



## 6. 補正の内容

- 1) 請求の範囲を別紙のとおり補正します。
- 2) 明細書第3頁第7行の「発刊疾患」を「発汗疾患」と補正します。
- 3) 同第8頁第5行の「ペプチドAおよびC」を「ペプチドAおよびE」と補正します。
- 4) 同第11頁下から5行の「 $\text{Na}^+\text{k}^+\text{ATP}$  アーゼおよび／または細胞結合特性の活性化を示す」を「 $\text{Na}^+\text{k}^+\text{ATP}$  アーゼの活性化および／または細胞結合特性を示す」と補正します。
- 5) 同第12頁第2行の「 $\text{Na}^+\text{k}^+\text{ATP}$  アーゼおよび／または細胞結合特性の活性化を示す」を「 $\text{Na}^+\text{k}^+\text{ATP}$  アーゼの活性化および／または細胞結合特性を示す」と補正します。

以 上

## 請求の範囲

1. (a) 配列 ELGGPGAG (配列番号：2) もしくはその断片、または配列 EGSLQ (配列番号：3) もしくはその断片からなり、そして  $\text{Na}^+\text{K}^+\text{ATP}$  アーゼ活性を刺激する能力を有する、ヒトインスリンC-ペプチドの断片であるペプチド、または  
(b) 配列 ELGGPGAG (配列番号：2) からなり、長さがアミノ酸10個までであるか、または配列 EGSLQ (配列番号：3) からなり、長さがアミノ酸15個までであって、そして  $\text{Na}^+\text{K}^+\text{ATP}$  アーゼ活性を刺激する能力を有するペプチド、または  
(c) 配列 ELGGPGAG (配列番号：2) もしくは配列 EGSLQ (配列番号：3) および配列番号2もしくは配列番号3のNおよび/またはC末端の側面のさらに別のアミノ酸配列1種または2種からなるペプチド (但し任意の該側面配列はヒトインスリンC-ペプチドに対して天然ではなく、該ペプチドは  $\text{Na}^+\text{K}^+\text{ATP}$  アーゼ活性を刺激する能力を有する)  
を少なくとも1種の製薬的に許容し得る担体または賦形剤とともに含有する医薬組成物。
2. ペプチドが配列 ELGGPGAG (配列番号：2) または配列 EGSLQ (配列番号：3)、またはその断片を有する、請求項1記載の医薬組成物。
3. 断片が ELGG (配列番号：4) (ペプチドB)、ELGGP (配列番号：5) (ペプチドC)、GGPGA (配列番号：6) (ペプチドD) および GSLQ (配列番号：7) (ペプチドF) から選択される、請求項2記載の医薬組成物。
4. ペプチドが配列 LAEGSLQ (配列番号：12)、ALEGSLQ (配列番号：13) または LEGSLQ (配列番号：14) を有する、請求項1記載の医薬組成物。
5. ペプチドまたは断片の長さがアミノ酸2~25個である、請求項1または2記載の医薬組成物。
6. ペプチドまたは断片の長さがアミノ酸2~9個である、請求項5記載の医薬組成物。

7. 糖尿病または糖尿病合併症を抑制するのに有効な少なくとも1種の別の活性剤をさらに含有する、請求項1～6のいずれか1項に記載の医薬組成物。
8. 別の活性剤がインスリンである、請求項7記載の医薬組成物。
9. 請求項1～6のいずれか1項に記載のペプチドまたは断片により発現される少なくともそのレベルで、腎細管細胞および繊維芽細胞に対して $\text{Na}^+\text{K}^+\text{ATP}$ アーゼの活性化および/または細胞結合特性を示すことを特徴とするバイオミメティック非ペプチド有機化合物。
10. 糖尿病および/または糖尿病合併症を抑制するか、または $\text{Na}^+\text{K}^+\text{ATP}$ アーゼの活性を刺激する医薬を製造するための、請求項1～6のいずれか1項または請求項9に記載のペプチドもしくはその断片またはそのバイオミメティック有機化合物の使用。
11. インスリンの使用をさらに包含する、請求項10記載の使用。
12. 場合により腎障害、神経障害または網膜症を伴う1型糖尿病の治療に、または後期糖尿病合併症の進行を遅延させるためにその医薬を使用する、請求項10または11に記載の使用。
13. 糖尿病および/または糖尿病合併症を抑制するための同時、個別または連続使用の併用製剤としての、請求項1～6のいずれか1項または請求項9に記載のペプチドもしくはその断片またはそのバイオミメティック有機化合物を、糖尿病または糖尿病合併症を抑制するのに有効な少なくとも1種のさらに別の活性剤とともに含有する製剤。
14. ELGGPGAG (配列番号: 2) もしくはその断片を有し、そして $\text{Na}^+\text{K}^+\text{ATP}$ アーゼの活性を刺激する能力を有するペプチド(但しGGPGを包含しない)。
15. ELGGPGAG (配列番号: 2)、ELGG (配列番号: 4) (ペプチドB)、ELGGGP (配列番号: 5) (ペプチドC)、GGPGA (配列番号: 6) (ペプチドD)、GGGPGAG (配列番号: 8)、GGGPG (配列番号: 9)、GGGP (配列番号: 10) またはGGPから選択される、請求項14記載のペプチド。